# 経営比較分析表 (令和元年度決算)

#### 長野県生坂村 やまなみ荘

30.0

25.0

20.0

15.0

10 0

5.0

当該値

H27

21 7

平均値 23.4 22.8

H28

18.2

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	観光施設事業	休養宿泊施設	A 1 B 1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	建物延面積(㎡)	宿泊定員数(人)	
該当数値なし	該当数値なし	2, 890	46	

客単価(円)	指定管理者制度の導入	インターネットによる予約割合(%)
9, 630	導入なし	11. 2
パリアフリー法の基準適合性	トイレ洋式化率(%)	Wi−Fi設置
無	88 2	有

0.16%

0 14%

0.12%

0.10%

0.08%

0.06%

0.04%

0.02%

0.00%

市町村(左軸)

H28

### グラフ凡例

■ 当該施設値(当該値)

一 類似施設平均値(平均値)

【】 令和元年度全国平均

#### 分析欄

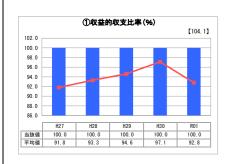
#### 1. 収益等の状況について

一般会計繰入金により収益的収支比率は100%となっ ているが、繰入金への依存度を示す他会計補助金比率 は、9月にレジオネラ菌が男性浴場から検出されたこと による減収や、10月台風被害による観光客の落ち込み 新型コロナウイルス感染症の影響により2月以降の利用 者大きく減少したことなどにより、期間中最高11.0%と なり平均値より大きく上回っている。定員稼働率は類似 施設との比較では低いが、売上高人件費比率、売上高G OP比率、EBITDA等は類似施設との比較数値は良 好となっている。これは、本施設は宿泊以外の日帰り (宴会、食堂、入浴)業務も行っており、その業績に。 るものと考える。しかし、類似施設と比べ良好な指標も あるが、水準としてはマイナスかつ悪化しており、より いっそう一般会計からの繰入金に依存している運営であ る。今後利用者増に向けた取り組みを検討実施し、ティ クアウトの充実、郷土食(おやき)の製造、宅配用冷凍 食品の開発などにより、新たな利用者が増加するような

#### 2. 資産等の状況について

当初建築より30年以上が経過し、これまで増築施 大規模改修、それ以外にも必要に応じ修繕等を実施 してきた。今後、老朽化した施砂や設備への投資を 適切に行うため、令和2年度に建物の状況調査を実 施し、今後の改修、修繕において更新投資が過大に なることがないよう対応をしていく。

## 1. 収益等の状況



④定員稼働率(%)

H29

17 2

H30

23. 5 23. 9

16.8

[19.7]

15.3

45.0

40 0

35.0

30 0

25.0

20.0

15.0

10.0

当該値

H27

H28

20.0 20.6 21.0 18.7

平均値 35.4 37.3 33.8 35.7 38.9



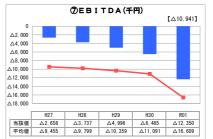
⑤売上高人件費比率(%)

H29

H30







H29

H30 R01

3. 利用の状況

③施設と周辺地域の宿泊客数動向

公営企業(右軸)

0.10%

0.08%

0.06%

0.04%

0.02%

0.00%

[37 3]

21.3









#### 3. 利用の状況について

新型コロナウイルス感染症の影響などにより定員 働率は減少した。当施設の利用者は高齢者が多く、 利用者の用性を考慮したサービスを充実させているが、利用の場合の会員数の減少に、会そのものの行いる傾向にある。村としては、地域の活性化のにも誘客や利用者の増加に向けた取り組みを進めて おり、そのためにも当施設の必要性は大きいものと 者える。

#### 全体総括

収益等の状況は、類似施設と比較して良好な指標で はあるが、一般会計からの補助金に依存した経営と なっていることを踏まえ、稼働率向上となるような 提供サービスの検討を行う必要がある。

観光施設 (休養宿泊施設) であるため、一定のリニューアルや施設改修は誘客のためにも必要であるので、修繕も含め施設管理を徹底するとともに、計画的な改修、修繕なども計画する。

国間の場所、「関係では、 対民が態いの場、交流の場として利用できる村に唯 一の施設であるため、事業の廃止は考えにれず、村 民福祉に寄与している点からも民間譲渡は近々には 考えにくい。新型コロナウイルス感染症緊急事態宣 言下での外出自粛では、村内で食品養強は大きい。 舗が限られており、当能設の存在意場は大きい。 力し、現状での営業継続は様々な負担を抱えている ため、営業を継続していくための引き続き多方面か らの研究をする必要がある。